令和4年度 磐田市立磐田中部小学校 学校評価書

評価指標・・・学校評価アンケートの項目、番号は、学校評価アンケートの項目番号
割合・・・学校評価で「強く思う」「だいたいそう思う」と回答した児童・保護者・教師の平均値(単位は%)　前年比：緑は増、赤は3%以上減、水色は新設した指標

	重点プランと数値目標		番号	評価指標	割合	自己評価	考察・改善
知育	学び合う喜びを実感する子 ・楽しく学習（国語）に取り組んでいます。（85%） ・友達の考えを自分の考えと比べながら聞いています。（85%）	学習理解	11	基礎基本的な学力が身に付いている	92	A	○学習理解について 「みんなで『できる・わかる』楽しい授業」という研修テーマの基、ユニバーサルデザインの考え方を授業の土台としている。職員の研修はもちろん、今年度は子供が同学年や異学年で授業を参観することで、学び合いのよりよい姿について考えてきた。今後は、基礎基本の確実な定着に向けた授業改善と、子供が主体的に取り組む魅力的な授業作りを行っていく。 ○学習用タブレット端末の活用について 感染症の状況にかかわらず、タブレットを日常的に扱えるようにするため、3～6年生は毎日タブレットを持ち帰るようにした。冬休みにも持ち帰り、家庭学習にも取り入れた。今後も個別学習の機会確保や学びの交流に生かせるようにしていきたい。 ○読書について 進んで読書をしている割合は、微減である。学期に各1回の読書週間の設定や水曜日の家庭学習における読書の奨励などを行い、読書習慣の向上に努めつつ、タブレットを用いた情報検索が進む中で、図書室の利用をどのように増やしていくかを考えていきたい。
			13	学習内容を理解している	92	A	
			12	家庭学習の習慣が身に付いている（学年×10分＋10分）	83	B	
		学習方法・態度	15	楽しく学習（国語）に取り組んでいる	88	A	
			26	友達の考えを自分の考えと比べなら聞く	87	A	
			23	進んで読書をしている	74	B	
		学習支援	16	教師は、よく分かるよう工夫して教えている	94	A	
徳育	自他の良さや違いを認め、自分の良さを発揮する子 ・気持ちの良い挨拶や返事をしています。（80%） ・学級（学校）には互いにルールを守り、協力する雰囲気があります（90%） ・自分や友達の良さに気付き、自分の良さを発揮しています。（80%）	学校生活	1	楽しく学校に通っている	95	A	○学校生活や良さの気付きについて 「子供が楽しく学校に通っている」という質問に対し、多くの児童・保護者・教師が「そう思う」と回答している。学校が子供たちの居場所として確かな役割を果たしていることに安心感を覚えると共に、一人も見落とさないような意識を組織として高めていきたい。また、「わたしっていいな あなたもいいね みんなのために」の合い言葉(本校の重点目標)が児童に広く浸透してきた。高学年では行事の振り返りや道徳の学びの視点にもなってきている。来年度も、子供たちの自己肯定感や自己有用感を高めていけるように、学府で連携しながらレジリエンスの育成を目指して教育活動を進めていきたい。 ○挨拶について 挨拶については、「もう少しできるといい」という意見が校内外で多い。今年度は中学校と合同での挨拶運動を再開したり、挨拶の花を咲かせようと高学年が呼び掛けたりして、改善の兆しも見られる。来年度はより継続的な取り組みを大切にし、教師が価値付けながら子供の意欲を高めていきたい。 ○歌うことについて コロナ禍においても、開催方法を工夫することで3年ぶりに歌声発表会を実施することができた。来年度はそれぞれの学年の発表を目の前で見て、互いのよさを感じられるようにすることで、縦の意識を高めたい。
			6	学級(学校)には、互いにルールを守り、協力する雰囲気がある	91	A	
			3	異学年交流に、生き生きと楽しく活動に取り組んでいる	83	C	
			5	進んで声を出し、歌うことを楽しんでいる	86	A	
		児童理解	17	教師は、子供のことを理解して指導にあたっている	94	A	
			7	教師は、子供のことについての相談に適切に応じている	95	A	
		人間関係作り	8	進んで気持ちのよい挨拶をしている	76	B	
			2	相手の気持ちを考えた、あたたかな言葉づかいをしている	88	B	
			27	自分や友達の良さに気付き、大切にしている	90	B	
体育	心身ともに健康をめざす子 ・めあてに向かって粘り強く運動に取り組んでいます。（90%） ・バランスよくミニやごをちゃんと食べています。（90%） ・感染症対策を習慣化しています。（90%）	運動	28	めあてに向かって粘り強く運動に取り組んでいる	85	B	○運動について コロナ禍ではあったが、感染症対策を取りながら、スポーツフェスティバルや持久走記録会を実施した。個人のめあてに向かって粘り強く運動に取り組むだけでなく、学校の合言葉をめあてや振り返りの指標にして考えられたことが、周りへの気付きにつながった。 ○健康について 感染症に対する意識が継続しているが、マスクの着脱についても行動様式が変化しつつある。今後の動向を見極めながら、子供が健康で表情豊かに過ごせるようにアフターコロナの対応を考えていきたい。
		健康	29	バランスよくミニやごちゃんを食べている	87	A	
			30	感染症対策(手洗い,ﾏｽｸ,ｿｰｼｬﾙﾃﾞｨｽﾀﾝｽ)を習慣化している	89	A	
		生活習慣	4	基本的な生活習慣が身に付いている（整頓や時刻）	82	B	
			21	規則正しい生活をしている（早寝、早起き、朝ごはん）	88	A	
開かれた学校	地域と共にある学校 ・コミュニティスクールの推進 ・PTA活動の活性化 ・学校運営協議会の充実 ・いずみサポーターズ（学校支援ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ）	連携	22	保護者や地域からの協力を得て教育活動を進めている	97	A	掛け算九九やリコーダー、ボール投げサポーターなど、地域や保護者の方に力をお借りしながら、教育活動を推進することができた。子供の学びの充実のためにも、今後とも協力を依頼していきたい。
			9	小中一貫教育で取り組んでいることを知っている	74	B	

学校関係者評価委員から	○子供たちが落ち着いて授業に臨んでいる。和気あいあいとしたグループ活動や図工作品の素直な表現から、先生たちが普段から子供たちに寄り添って指導しているためであると強く感じた。 ○地域の旗振りでは気付かなかったが、校門の側まで来ると子供たちが見守りサポーターの方と目を合わせ、挨拶を交わしている様子が見られた。挨拶については家庭や地域ぐるみで心掛け、細く長く地道に取り組んでいくことを大切にしたい。 ○コミュニティスクールで地域の方の協力を得やすいように人材バンクを整備していけるとよい。	学校関係者評価のまとめを受けて	○課題の1つである挨拶については、中泉地区の方たちと連携を図り、家庭と地域、そして学校（学府）の三者が一丸となって取り組んでいきたい。 ○「楽しく学校に通っている」という評価項目が来年度も子供の生き生きとした姿で表れるよう、学校生活が子供にとってわくわくどきどきできるものにしていきたい。特に、アフターコロナを見据え、普段の学習や学校行事の中に保護者や地域の方を招きながら、「わたしっていいな、あなたもいいね、みんなのために」の合言葉を一層子供たちが実感できるようにしていきたい。